

平成28年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国保	事業勘定	27億9,323万7千円	27億4,257万円	5,066万7千円
	施設勘定	4億6,489万1千円	4億6,298万9千円	190万2千円
後期高齢者医療		1億8,820万4千円	1億8,814万9千円	5万5千円
介護	保険事業	20億1,258万2千円	19億7,331万7千円	3,926万5千円
	サービス事業	603万9千円	572万6千円	31万3千円
公共下水道事業		9億3,010万円	9億109万4千円	2,900万6千円
農業集落排水事業		2億6,719万4千円	2億5,866万6千円	852万8千円
水道	収益的収入・支出	7億475万8千円	6億6,845万6千円	3,630万2千円
	資本的収入・支出	1億4,732万2千円	4億7,353万3千円	△3億2,621万1千円

※不足額は消費税、消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

- 用語説明**
- (国保事業勘定) 主に保険給付金等の事業費
 - (国保施設勘定) 診療所運営の事業費
 - (介護保険事業) 主に介護保険給付金等の事業費
 - (介護サービス事業) 要支援者ケアプラン作成事業費
 - (水道事業収益的収入・支出) 汚れた水を適切に処理するための経費とその財源です。
 - (水道事業資本的収入・支出) 施設を建設・整備するための経費とその財源です。

近隣町村との比較

数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる?

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事である。

	財政力指数 (平成28年度決算実績)	経常収支比率 (%) (平成27年度決算実績)	実質公債費比率 (%) (平成27年度決算実績)
城 里 町	0.371	85.9	12.4
茨 城 町	0.562	82.1	8.5
大 洗 町	0.723	86.5	4.1
大 子 町	0.324	84.5	4.6
常陸大宮市	0.435	84.6	8.6

※「茨城県市町村概況(平成29年度版)」より抜粋

実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

財政比率

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
財政力指数	0.371	0.374	0.375
経常収支比率(%)	85.7	85.9	85.4
公債費負担比率(%)	14.7	15.7	15.9

財政力指数……「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。

経常収支比率……おおむね70%から80%が標準とされる。

公債費負担比率…比率が高いほど自由に使える財源の幅が狭まり、15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされる。

監査委員決算審査報告

7月31日(月)から8月3日(木)にわたり、平成28年度一般会計と特別会計決算・企業会計決算と事業実施状況について審査を行い、その結果、次の意見を付しての報告がありました。

監査委員 加藤木 昭 博
監査委員 菌 部 一

- 未収金対策も毎年申し上げているところだが、引き続き各課との連携を密にし、滞納者には早期に対応し、悪質な滞納者には、「滞納は絶対に許さない」という毅然とした態度で臨み、法的措置を講ずるなど、さらに実効性のある収納対策を図り、滞納の解消、収納率の向上に引き続き努められたい。
- 各事業の予算については、財源確保の厳しい中、予算付けされたものであり、今後とも常に業務の執行状況・入札状況等により、決算見込みを的確に把握して、予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図り、弾力性のある行政運営を望むものである。
- 公営企業会計は独立採算性が原則であり、収入未済額の増加は経営圧迫の要因にもなる。水道事業会計においても、収入未済額の解消に更に全力で対処するとともに、年間給水量及び年間有収量を的確に把握し、供給単価を考慮し販売損失の抑制に努め、独立採算制を基本とした適正な水道料金体系による健全な企業経営に努められたい。
- 地方財政にとっても交付税の合併算定替え適用期間に入り、普通交付税が減額される等厳しい状況が続くことが予想されるので、真の住民サービスとは何かを常に念頭に置き、住民が安心して生活できる生活環境を望むものである。